



# 秋田の自然が未来をひらく

## GX (グリーン・トランスフォーメーション)

世界が「脱炭素」に大きく舵を切っています。異常気象などによって多くの国々が「このままではいけない」という認識を共有し始めました。これまでは経済効率最優先だった企業や組織が、少々高くついてもCO2排出量の少ないものを優先させるべきと考えるようになっていきます。温室効果ガスを発生させない「グリーンエネルギー」への転換を進め、産業や社会を変革して成長につなげることをGXと呼び、これが今や世界の潮流となってきました。またウクライナ侵略で深刻化したエネルギー供給不安は、日本のエネルギー安全保障の脆さを露呈しています。

外国の資源に頼らず生産でき、CO2も排出しないエネルギーとして期待されている風力発電。現在秋田県の風力発電量は(洋上風力発電の運転開始前の)2021年末時点で全国第2位です。洋上風力発電がこれから本格的に稼働すれば、秋田はダントツの先進県となります。2022年11月には世界洋上風力サミットが秋田市のミルハスで開かれました。今後数千億円と見込まれる巨大な経済効果は、すでに大企業の秋田支店開設や宿泊施設

の活況などに表れてきています。これから就職する子どもたちにとっても、県内に将来性ある選択肢がたくさん生まれることになり、人口減少の抑制に大きな効果が期待できます。

さらに「脱炭素」のもう一つの側面であるCO2吸収源対策においても、広大な森林を有する本県には大きな優位性があります。これまで木材価格の低迷で苦境にあった秋田の林業・木材産業は、ウッド・ショック(近年の木材価格の高騰)によって息を吹き返しています。さらに能代市には日本最大の製材会社が進出することとなりました。こうした好機に、木材活用と再造林をしっかりと推進することで、秋田が日本のCO2吸収源として大きな役割を果たせるようになるのです。こうした脱炭素の取組そのものに価値を認めるGXにおいて、秋田県は全国屈指のポテンシャルを持っているわけです。

この度、秋田県議会に超党派の「秋田県DX・GX推進議員連盟」が発足しました。若手主導の取組ではありませんでしたが、先輩議員を含め県議43人中40人ものご加入をいただき、僭越ながら私が会長を拝命いたしました。GXもDX(デジタル・トランスフォーメーション)も新しい概念で、大変な勉強が必要になりますが、秋田県はこれまで新しいことに乗り遅れ続けてきたことを思い起こさなければなりません。この最大のチャンスに秋田が逆転ホームランを放つため、しっかりとこの重責を果たしたいと思います。



秋田県DX・GX推進議員連盟の設立総会であいさつ



県議会の農林水産委員として、東北の豪雨災害現場を視察



秋田市内の大規模製材工場では、木材乾燥のための燃料をほぼ端材のチップでまかなえています



陸上自衛隊時代の同期・同部屋だった中谷真一代表議員が経済産業副大臣に!



### けんた家の現状

陸上自衛隊の同期である妻は身長も度量も大きな頼もしい人です。私が退官し夫婦で無職になった1年間、第2子を出産しながらも特に心配する様子はなく、根拠もないのに「大丈夫、大丈夫」と楽観的でした。初めて選挙に出ると言ったときは「あっそう頑張ってるね」という感じでした。まあ私としては大変助かるんですが、とりあえずこれからもついてきます(笑)

### 鈴木健太のプロフィール

昭和50年生まれ。新聞販売店の息子。小学校から高校まで野球部。19歳で阪神淡路大震災を経験したのち京都大学法学部に入学。大学在学中は料亭、バー、建設作業や引越し業など様々な現場で働く。大学卒業後陸上自衛隊に幹部候補生として入隊し、主に長崎県の第一線部隊で勤務。平成15年東ティモールPKO、同17年にイラク人道復興支援活動へ派遣。同18年退職し、妻の地元秋田市に移住。無職で1年間勉強し司法書士試験に合格。現在は司法書士法人岡田事務所の共同代表を務め、多くの相続事件や成年後見業務に関わる。妻、子ども4人+ネコの7人家族。

### 現在の役職 ※令和4年6月末

- 自民党秋田県連 政務調査会長
- 秋田県DX・GX推進議員連盟 会長
- 秋田県エアロビック連盟 会長
- 秋田県防衛協会 副会長
- 秋田県議会トラック輸送振興議員連盟 幹事長
- 秋田県都市計画審議会 委員
- 秋田県キッチンカー協会 顧問
- 秋田県eスポーツ協会 コアメンバー
- スペシャルオリンピックス日本・秋田 顧問
- 日本パーテナー協会秋田支部 顧問
- 秋田市PTA連合会 事務局次長
- 秋田市消防団 城東分団赤沼班長
- 駅東竿燈会 顧問
- 秋田工業高等専門学校 野球部親の会
- 秋田市立城東中学校 PTA副会長・柔道部親の会
- 秋田市立広面小学校 女子ミニバスケ部少親の会
- 広面地区商工振興会 副会長
- 広面地区体育協会 顧問

その他

# 日本の平和のコストは



27才の鈴木健太 東ティモール・マリアナ宿営地に

ロシアによるウクライナ侵略、中国の台湾統一への野心、そして北朝鮮による相次ぐ弾道ミサイル発射。2000年頃は日本の半分ほどだった中国の軍事費は、直近で日本の5倍近くにもなっています。こうした安全保障環境の悪化を受けて、政府は防衛費の対GDP比1%という枠を、NATO諸国並みの2%に引き上げる方針を発表しました。私が現役だった頃、陸上自衛隊は隊員が自腹のパソコンやプリンターで仕事していたくらい予算不足でしたので、隔世の感があります（その後セキュリティの問題で私物パソコンは使われなくなりました）。これを機に最新鋭の高価な装備ばかりでなく、隊員の処遇や、弾薬・燃料の備蓄など現実的な継戦能力の整備にもしっかり目を向けてほしいものです。

これまで長く平和を享受してきた私たち日本人は、「平和のコスト」についてあまり意識したことがないかもしれません。近年の「防衛白書」では主要国の国防費を比較し、各国の一人当たり国防費を明らかにしています。それによると、地政学的リスクの比較的小さい欧州やオーストラリアの国民ですら、日本の倍以上の国防費を負担していることがわかります。そしてその増加率も、1998年度から2022年度にかけて中国は10.7倍、米国は2.9倍、韓国は3.6倍となっていますが、日

本はわずか1.8倍です。中国、ロシアそして北朝鮮といった国々に囲まれているわが国が、諸外国と比べて著しく低い『対GDP比1%』という政治的制約の下で平和を守るのが難しくなってきたのは、むしろ当然ではないでしょうか。これからその内容や財源に関する議論が本格化しますが、世界の厳しい実情について何卒ご理解くださるようお願い申し上げます。

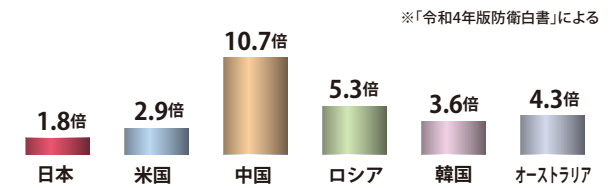
## ■主要国の国防費(2021年度)

一人当たりの国防費



## ■主要6カ国の国防費の推移

1998-2022年度の伸び率



## 活動報告



国際教養大学で4年ぶりの講義！英語力が激しく劣化しており地獄の様相を呈しました…



護国神社の清掃 自衛隊OBとして、現職自衛官と力を合わせて英霊に奉仕しました。



ブラウブリッツ秋田のホーム最終戦、5,000人を超える観客の半数はアウェー仙台から！



自民党青年局の街頭活動では、日本の防衛を中心に お伝えしております。



自民党の政調会長会議では、萩生田会長に秋田県の人口減少の深刻さを伝え、東京一極集中の是正に一段高い実効性を求めました。



消防団の水防訓練で土のうを作りました。自衛隊以来、なつかしい～



第145回秋田県種苗交換会、今年は大曲で開催！「稼げる農村」が人口減少の抑制には不可欠です。

下浜地区



# 10月より市内各地において “小さな県政報告会”を開催しております！

これまで7か所で行い多くの皆様にご参加いただきました。ありがとうございます！内容は人口減少や日本の安全保障について、そして私の活動報告と今後について、などなど。質疑の時間も設けて皆様からのご意見もいただいております。

柳田地区



新屋地区



勝平地区



仁井田御野場地区



牛島地区



大住・次島地区



★年内の県政報告会の予定はこちらです！（それぞれ1時間程度です）

12月25日(日) 10:30～  
旭北・旭南地区  
旭北地区コミュニティセンター(秋田市大町4丁目4-15)  
※駐車場に限りがありますのでなるべく徒歩などでおいで下さい。

12月25日(日) 14:00～  
中通・楳山地区  
楳山地区コミュニティセンター(秋田市楳山南中町1-9)

スクリーンなどは全て持参しますので、町内会館や公民館でもOKです。少人数でも喜んで伺います。遠慮なくお声がけください！

お問い合わせは「鈴木けんた事務所」まで  
TEL 018-883-0605  
E-mail kidsfuture@suzuken-akita.com

## ダサくても頑張ります

全く変わり映えのしないこちらの写真…私も議員になるまでは、ただ記念写真を撮りに行っただけじゃないのか？こんな意味あるのか？くらいに考えていました。しかし県の財政状況を知り、国からの交付金や補助金などのように決まるのかイメージできるようになった今は、こうした「要望活動」の大切さがよくわかります。老朽化した

トンネルや橋などを修繕してみさんの安全を確保するため。細切れになっている高速道路を一日も早くつなぐため。条件の不利な農地を改良して農家の収益力を高めるため。目立たないけれど大事な予算を求め、わざわざ訪問して公式にお願いするというのは、それが他県との予算獲得競争である以上とても重要なことです。そしてその要望先である省庁の大臣や副大臣に秋田の人が就くということの大きな価値。本当に

役に立つ政治は全くスタイリッシュじゃないのですが、それが秋田のためになるのであればしっかりと頑張ります。



手前に立ったのでデカく見えています…